

■きものイベント／「きものまつり」や「きもの街のキルト展」など、きものに関連したイベントを毎年開催しています。また、市内には和文に触れることのできる体験施設や和装小物販売店が各所にあります。



■トオコン／2010年から毎年開催されている十日町市ビジネスコンテスト。首都圏、新潟県内の大学生が十日町市で行う新ビジネスプランを競うコンテストで、ここで選ばれた優秀なプランの事業化を市がバックアップするというものです。2013年の最優秀賞は、日本大学 グリーン☆バンドナチームの「ベジブリッジ～野菜は人を繋げる架け橋～」。農家の皆さんが愛情を込めて育てた野菜の「はねだし」に着目し、新たな価値を見出します。



■十日町産業フェスタ／メイドin十日町が大集合！市内企業のPRブースや地元B級グルメ、音楽&ダンスステージなど、十日町市の「職・織・食」を存分に楽しめるイベントです。

地域に活力を生む 経済政策を推進

企業誘致については、在京郷人会などの協力を得ながら、成長企業を紹介してもらうなど、チャンスの拡大に努めるとともに地元企業を支援するため、企業設置奨励条例で、企業の設備投資を促し雇用の創出を図っています。また、産官学連携推進事業としてビジネスコンテスト「トオコン」の開催や地元企業の技術力アップのための支援を行い、このほかにも新商品開発や新規ビジネスの創出、販路拡大への支援など、さまざまな事業を展開しています。さらに地域ブランドを構築するために、十日町ブ



[産 業]

十日町市の ポテンシャルを 最大限生かして

産官学連携による新規ビジネスの創出、地場産業や商工団体の支援、交流都市とのネットワークの推進、シティプロモーションなど、地域に活力を生む経済政策に取り組んでいます。農林畜産業を他と差別化できる産業として捉え、意欲ある農業者の育成と多様な集落営農システムの確立、農産物のブランド化、6次産業化を強力に推進します。

Industry
Developing a city with vitality and energy.
Making efforts in industry revival by utilizing the potential of Tokamachi to maximum effect.

We are working on economic policies that generate vitality in the region, such as the creation of new businesses through industry-government-academia collaborations, support for local industries, commerce, and organisations, promotion of networks with cities we are interacting with, and city promotions. We are also promoting the nurturing of willing farmers and the establishment of a variety of community farming systems, branding of farm produce, and sixth sector industrialization, as we perceive the agriculture, forestry, and livestock industries as ones that can be differentiated.

**建设充满活力的城市。
最大限度发挥十日町市的潜力，大力振兴产业。**

通过产官学的紧密协作，创造新的商机，支援本地产业和工商团体，促进与交流都市之间的信息互动，提高城市的知名度，积极落实激发地区活力的经济政策。我们还要把农林畜牧业作为区别于其它地区的特色产业，培养有事业心和干劲儿的农业生产者，建立起多种乡村农业经营体系，大力推进农产品的品牌化和第六产业化。

ンドメニューの開発を目指す市民の自主活動を支援するほか、「全国きものサミット」や「染織の祭典・十日町フェア」、「十日町産業フェスタ」などのイベントを通じて地場産業の振興支援に努めています。これらを友好都市など交流都市のほか名産地連携など、他の自治体とも積極的に連携し、十日町市産品の情報を発信することで販路拡大に取り組んでいます。

農業機械や施設整備の補助に加え、市独自に30%の上乗せ補助を行い、就農直後の負担軽減を図るなど、担い手の育成に取り組んでいます。また、水田における園芸作物の栽培支援を行い、不作付け水田の拡大防止と、稲作と園芸作物との複合経営を推進しています。さらに、農産物のブランド化に取り組むほか、企業との連携を図りながら、消費拡大に向けた新商品開発、製造・販売体制の確立に取り組むことで6次産業化を進めています。林業については、地球環境保全の観点から環境共生基金を活用し、間伐材の利活用と森林の整備促進に取り組んでいます。



■魚沼産コシヒカリ／ブランド価値を高めるために、高品質・良食味・安全安心なお米を目指して、気候変動に左右されない安定した生産体制の確立を目指しています。

十日町市に来たくなる。
十日町市が好きになる。
そんな形を
目指しました。



Name 杉山 弘美さん

Job 道の駅クロスステンの社員
十日町カタログギフト提案者

Profile 広島県呉市出身。都会に慣れてふるさとを離れ東京農工大学に進学した杉山さん。2011年3月にカナダ・アメリカへ留学。到着して5日後に東日本大震災が発生。現地での日本生活、広島の地方への意識が変わりました。この経験から、「地域活性化」に興味を持つようになり、「十日町市カタログギフト」の企画につながりました。

「十日町市カタログギフト」は、十日町市の景観・風土・歴史と特産品・体験型商品を織り交ぜた、読んで旅するカタログギフトの冊子です。私が大学4年生のとき、トオコンseason3で最優秀賞を受賞したプランが形になりました。十日町市出身者、在住者をネットワーク化し、デザイン性が高い商品や、十日町市でしか作れない、体験できない十日町市の「いいもの」を揃えた「ふるさと密着型」のカタログギフトを制作し、ブランド化と低価格の2つの戦略で全国展開し、十日町市を全国ブレイクさせるというプラン内容。その後クロスステンの職員として事業化とカタログ製作を任せられ、2013年10月に発売となりました。半年間カタログ製作中に出会った数々の特産品、そして協力いただいた十日町市の皆さん。感動と感謝の連続で、ますます十日町市が好きになりました。

道の駅クロスステンの越後妻有おもみやげ館にて「十日町市カタログギフト」を手に。カタログは、クロスステンの店頭やホームページから購入できます。